

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・自分で活動を決める機会を取り入れたことで、主体的に活動できた。
- ・友達や異学年の児童、校内の教職員、地域の方と交流する機会を通して、自分の考えを広げたり深めたりできた。

(2) 課題

- ・どの単元においても児童の思いや願いをもとに、自分で活動を決めるようにすることを通して、主体的に取り組めるようにし、学習をさらに充実させる必要がある。
- ・地域や地域の人と関わる機会を多く設定することで、考えを広げたり、地域への愛着をもてるようにしたりする。
- ・ICTを効果的に取り入れることを通して、気付きの質を高めるようにする。
- ・身近な自然、特に動植物と関わる機会を多く設定し、3年生以降の理科の学習への興味・関心につなげるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○気付いたことを表現したり、友達と交流したりする機会や、活動や体験を言葉で振り返る機会を設定することで、気付きの質を高めるようにする。 ○タブレットで写真撮影をして電子黒板で投影したり、オクリンクを投影や共有機能で共有したりするなど、ICTを効果的に取り入れることで、対象のよさや特徴などに気付くようにする。 ○動植物の飼育・栽培の活動では、動植物と直接触れ合う機会を多く設定することで、よさや特徴などに気付くようにする。	○身近な社会及び自然など対象に繰り返し関わり、試行錯誤する機会や工夫する機会を設定することで、考えを深めるようにする。 ○地域の人、ゲストティーチャー、校内の教職員等と交流する機会を多く設定する。また、その際、活動のねらいを事前に打ち合わせることで、考えを広げたり、地域などへの愛着を深めたりすることにつなげる。	○単元シートを作成して、児童の思いや願いを実現していく流れにすることで、学習に主体的に取り組めるようにする。 ○1単位時間の終わりや単元の終わりに活動や単元全体を振り返る機会を設定することで、次の活動への思いや願いをもったり、自分の生活に生かしたりするようにする。